

市民講座

高齢者の健康増進と個別化医療の実現にむけて

2016年3月27日(日) 13時半～16時

西条図書館 2階会議室

〒793-0030 愛媛県西条市大町1590番地

講演者(敬省略)と講演タイトル

13:30 -14:20

平井愛山 千葉県病院局 理事
千葉県循環器病センター 理事
「地域ぐるみの減塩で透析予防を！」



14:30 -15:20

岡崎光洋 一般社団法人 スマートヘルスケア協会
代表理事
「お薬手帳の電子化と期待される未来」



15:20-16:00

質疑・討論

主催：NPO法人 地方再興・個別化医療支援

共催：西条図書館

後援：地域医療福祉情報連携協議会

日本オミックス医療学会

CBI学会(情報計算化学生物学会)

一般社団法人スマートヘルスケア協会

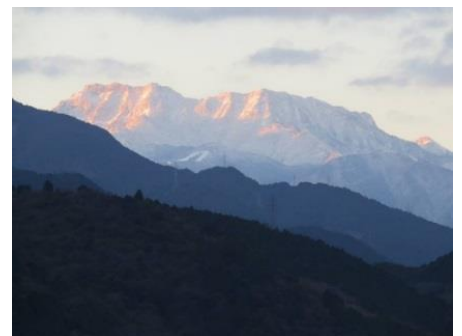
お問い合わせ先：

〒793-0041 愛媛県西条市神拝甲150-1

西条産業情報支援センター・SOHO 5号

電話 (080)6808-5059

E-mail: toshihisa.ishikawa.r@gmail.com



受講は無料。事前のお申し込みをお願いします。

受講申込み用紙

氏名	住所	電話番号/E-メールアドレス

市民講座

高齢者の健康増進と個別化医療の実現にむけて

2016年3月27日(日) 13時半～16時

西条図書館 2階会議室

〒793-0030 愛媛県西条市大町1590番地

糖尿病の患者さんにとって、症状が悪化して人工透析を受けざるをえなくなった場合、身体的負担が増加するばかりでなく、医療保険システムの破綻を招きかねません。そのためには、患者さんの腎臓機能の低下を抑える必要があります。平井先生は、地域ぐるみの減塩運動を実施して、透析予防を実現するための取り組みを推進しています。その活動について、講演してください。

一方、岡崎先生は、お薬手帳の電子化による地域包括ケアシステム、および患者参加型の連携システムについて講演してください。調剤薬局で直ぐに服用薬の情報が得られることによって、薬による副作用を予防したり、災害時に避難した先でも薬の情報が正確に得られることは、医療の質的向上につながります。近未来型地域包括ケアは実現可能です。

<平井愛山先生>

千葉県病院局理事、千葉県循環器病センター 理事

千葉県循環器病センター 臨床研修アドバイザー

(社)日本慢性疾患重症化予防学会(JMAP) 代表理事

経済産業省『先進的情報技術活用型医療機関等ネットワーク化推進事業に係わる事後評価有識者委員会』委員

医療情報システム開発センター「ゲノムカルテ研究会」委員

総務省「地域における情報化の推進に関する検討会」委員

内閣官房「高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部」医療評価委員会委員

日本医師会「勤務医の健康支援プロジェクト委員会」委員

<岡崎光洋先生>

一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事(現)

クロスケアフィールド株式会社 代表取締役社長

株式会社ディヴィンターナショナル 取締役・PHR事業部部長

北海道大学大学院保健科学研究所 健康イノベーションセンター 客員研究員

お薬手帳の電子化による地域医療連携の効率化や、地域包括ケアシステムを支援する患者参加型の連携システムの構築など、健康・医療・介護分野におけるICTの活用に係わる実証研究を手がけている。

主催：NPO法人 地方再興・個別化医療支援 共催：西条図書館

お問い合わせ先：

〒793-0041 愛媛県西条市神拝甲150-1 西条産業情報支援センター・SOHO 5号

電話 (080)6808-5059 E-mail: toshihisa.ishikawa.r@gmail.com